



栗原小だより

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>



～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

令和3年度5月号
令和3年5月6日

スローガン「VITALITY 2021」

校長 大井 敏彰

木々の新緑がまぶしい季節になりました。校内には色とりどりの花が咲き、学校を色鮮やかに飾ってくれています。



(R3.4.30 撮影 体育館前花壇にて)

保護者の皆様には、ご多用の中、4月当初の学級懇談会にご出席いただきありがとうございました。首都圏を中心に変異株を含めた新型コロナウイルス感染症が拡大傾向を示し、感染不安が広がる中、多くの保護者の皆様（全校平均の参加率約65%）に足をお運びいただきました。保護者の皆様の学校への関心の高さに身の引き締まる思いを感じつつ、うれしい気持ちになりました。

さて、キャッチフレーズ「学校大好き！輝くひとみいっぱい 栗原小学校」を具現化するための今年のスローガンを、「**VITALITY 2021**」にしました。「VITALITY」には、**活気・活力・生命力・成長力**といった意味があります。

このスローガンには、次の3つの思いを込めました。

- ① 今年も新型コロナウイルス感染症への対応が求められています。感染状況に応じて教育活動への制約が求められる中、子供たちの力を伸ばすためにできることを模索しながら常に最善解を見いだし、**コロナ禍でも子供たちの活気や成長に繋がる教育活動を展開します。**

- ② 一人一台のPC端末導入や学校行事等の見直しなど、これまで前例踏襲型であった学校教育が大きな変革期を迎えています。「不易と流行」を見極めながら、これまで当たり前だった教育活動に対して工夫改善を加えていきます。そして、**これからの子供たちに必要な資質・能力を伸ばす教育活動を推進します。**

- ③ 栗っ子は、あいさつがよくできて、勉強や外遊びに進んで取り組み、活発に話し合い活動ができます。この力を未来に生かせるよう、一人一人が自分で考え、決断し、実行できる力、いわゆる「**個の確立**」を求めています。そのために、日々の教育活動の中で一人一人の**学びのスイッチ**を押し、**子供たちの主体性を引き出します。**

「2021」と付したのは、①コロナ禍、②教育改革は今年ならではの教育課題であり、③個の確立は今年度本発表を迎える学校研究のキーワードであるからです。このように、今年度は「**VITALITY 2021**」をスローガンに掲げ、**主体的に考え、能動的に実践できる活力あふれる学校づくり**を推進していきたいと思っております。



(R3.4.30 撮影 業間休みの外遊び)

しかしながら、より豊かな教育活動を実現するためには、保護者や地域の教育力が不可欠です。場面は限定されますが、**栗小PTA、学校応援団、学校運営協議会などの力**もお借りしながら、栗っ子のゆたかな学びを実現していきたいと思っております。皆様のご支援とご協力を、よろしくお願い申し上げます。